

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
温暖化	環境フェアの継続、環境家計簿の普及のほか、マイカー通勤自粛について、地域全体で継続して取り組む仕掛けができないか、考えて欲しい。	佐久
	行政も新エネルギー問題への取組をもっと前面に出すべきである。	佐久
	2020年までに自然エネルギーを全体の電気使用量の15%まで増やしたい。	上小
	東日本大震災による原発事故により、自然エネルギー活用への期待が高まっている。当地域は地形的に自然エネルギーの利用に恵まれているため、積極的に利用を推進すべき。同時に自然エネルギーを住まいに利用してきた先人の暮らしの知恵を活かした、自然の理に合う住宅づくりができればいいのでは。	飯伊
	佐久地域をスマートエネルギー特区に指定し、メガソーラーの設置に向け、県が中心になって引っ張って欲しい。	佐久
	温暖化対策のため、化石燃料になるべく頼らず、太陽光発電、小水力発電等の利用拡大に努め、エネルギー需要を抑制することが必要	飯伊
	今後、低炭素型あるいは自然エネルギー社会を見据えた、太陽光発電、水力発電、火力発電といった方向に目を向ける必要がある。	飯伊
	地域内の市民・行政・企業がつながって、地域で自然エネルギーを生み出して地産地消すること。	上小
	自然エネルギーの活用については、地産地消を基本とし、数値目標を設定するなど計画的に取り組んで欲しい。	諏訪
	バイオマスを活用した発電を研究している。ヒシも活用できる。地域内に発電装置を分散設置し、エネルギーの地産地消を行うべき。	諏訪
	県主導で新エネルギーの推進、エネルギーの地産地消を進めて欲しい。	北信
	原発を廃止して欲しい。家庭や職場で節電に努めることが必要	飯伊
	省エネ対策や環境経営に取り組む企業に対する支援策の拡充が必要	長野
	原子力発電所の事故以降、ペレットストーブ・ペレットボイラーなど、エネルギー源としての木材利用への関心が高まっている。温暖化防止のためにも、木材利用によるエネルギー対策に取り組む必要がある。	長野
	再生可能エネルギーの事業化において、資金調達や人材育成、規制緩和等が必要	長野
自然エネルギーの「個」による事業化は難しいため、ネットワークづくりを支援し、意欲と知識を持った退職者や「新しい公共」を活用することが有効	長野	
森林	森林面積が大きいことが当県の特性の一つになっている。森林保全の重要性を総合計画にしっかりと位置づけて欲しい。	諏訪
	森林の持つ機能の多様性ということがいわれるが、森林がどのような機能を持つのかということは研究していく必要がある。	佐久
	国の制度改革により、搬出間伐主体となり義務付けが多くなった。地域に合った対応を是非検討して欲しい。	諏訪
	森林整備に関する国の制度改革により、搬出間伐主体となった。小さな団体も取り組めるよう、機材のリース等に対する補助をお願いしたい。	諏訪
	自然災害防止の趣旨からも、特定地域の保全だけでなく、一般の里山整備を盛込んで欲しい。	諏訪
	森林税は、継続して欲しい。	佐久
	森林づくり県民税を継続し、水源対策も含め、県単事業の強化をお願いしたい。	諏訪
	森林づくり県民税を継続し、ペレットストーブの普及にも充てて欲しい。	諏訪

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
森林	森林整備の支障となる所有者の分からない森林が多いため、職権で解決する方策を検討して欲しい。	松本
	森林化している山際の荒廃農地の整備を進めるため、森林への編入を行政として進めて欲しい。	松本
	森林整備は県民の義務。里山は地域の資源であり、身近なところで様々な自然体験ができることをPRすることが必要	諏訪
	国の制度改正により搬出間伐にしか補助金が出なくなったが、搬出間伐ができない奥地の山林の手入れをどのように進めるかが課題	長野
	災害を防止するための山づくりに取り組む必要がある。	長野
	所有者が不明の山林があるため、山林の国土調査を実施して欲しい。	長野
	森林セラピー等、山に親しむ機会の増加対策が必要	長野
	森林づくり県民税を継続すべき。	長野
水・大気環境	諏訪湖は流域下水道により水質浄化が進み、ヒシ、外来魚、カワアイサ等についても県の施策により成果を上げている。引続き対応をお願いしたい。	諏訪
	諏訪湖の湖底の貧酸素化が喫緊の課題となっている。地域と協力しながら解決に向けて対応して頂くようお願いしたい。	諏訪
	ヒシの除去のため、堆肥化のみではなく、食用として薬膳の研究など、ヒシを利用した特産品の開発にも取り組んではどうか。	諏訪
	外国資本による水源目当ての山林の取得については行政が目を光らせて欲しい。	大北
	家庭での水の使い方(汚れを拭いてから物を洗う等)の啓発や、河川改修における環境への配慮が必要	長野
自然環境	諏訪湖の生態系の保全には、個々の現象にとらわれるのではなく、総合的、長期的な視点が必要である。	諏訪
	上高地へのニホンジカの侵入対策に早急に取り組んで欲しい。	松本
	登山道の整備を推進して欲しい。	松本
	上高地における危機管理として、通信設備の整備、ヘリポートの整備に取り組んで欲しい。	松本
廃棄物	マイバック運動の取組には店舗によってばらつきがある。県の指導をお願いしたい。	諏訪
	物資の再利用が当たり前の時代に育った世代が、次世代に姿勢を見せ、エコの精神を引き継いでいく必要がある。	諏訪
	持続可能な資源循環型社会の形成は小さな団体の取組だけでは解決できない。リユース、リデュースを優先して行政、事業者、消費者が一体となって取り組み、消費者のリサイクルは最後の手段だという指導をお願いしたい。	諏訪
	ごみの減量化のために、生ゴミの堆肥化や、バザーやフリーマーケット等で再利用することも必要	長野
	被災地のがれき受け入れについて国へ働きかけ、安心して受け入れられる体制を構築するなど、支援方法を検討することが必要	長野
環境保全活動	子ども達の農業体験等だけではなくて、自然体験というのを1つのベースとして入れていくべきではないか。	上伊那
景観	地域の景観に配慮した活動を行うことが必要である。	佐久
	リニア新幹線の開通に当たり、周辺地域の開発は景観等に配慮すべきでないか。その際、地域の合意形成を行うべき。	飯伊

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等	地域
景観	地域の景観に対する意識をより一層高める方策を推進すべき。	松本
	景観に関する基準や指針を踏まえた建築物や広告物が造られるような仕組みを検討すべき。	松本
	市街地に緑を増やすことでエネルギー負荷の軽減に効果があると思われるので、緑化を推進して欲しい。	飯伊
農山村の多面的機能	野生動物問題は、農業や林業の衰退と裏腹な問題である。農業の振興、林業の保全という産業面を支えて野生動物問題を解決することが必要である。	佐久
	有害鳥獣対策には個体調整が必要である。その現場の農家が個体調整に関わることで効果が上がると思われる。	北信
	野生動物問題の解決には、地域の合意形成、普及啓発、協働活動をコーディネートすることが不可欠である。そのためには、若い人材の育成が必要である。	佐久
	鳥獣被害対策のため捕獲頭数の増加が課題だが、狩猟者の高齢化のため対応しきれていない。狩猟に対する理解を深めるとともに、若手の育成のためにも人口増につながる施策をお願いしたい。	諏訪
	猟友会の会員が減ってきている。特に若い担い手の減少が著しい。免許取得に係る手続きが厳しいことと、免許取得に経費がかかることが新規の担い手を阻んでいる。改善をお願いしたい。	木曽